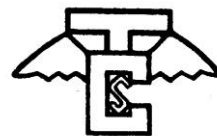


津商って こんな学校なんです



◎津商業高校の校章

右上の津商業高校の校章、他校のもの比べると、とても斬新ではないですか。校章の中には、TとCとSが隠れています。Tは津、CはCommercial(商業)、SはSchoolです。よく見ると、Sがへびになっていて、Tが杖に見立てられています。これは、ギリシャ神話の商業の神ヘルメスの姿を現したもので、大空を飛ぶがごとく、実業界に活躍するイメージを表現しています。

新聞部の部長・副部長
おっ、おっ



新聞部の3年生が描いてくれました。

◎検定に強い津商業高校

津商業高校は、部活動が盛んな学校という雰囲気強く打ち出されているようです。もちろん、その通りではあるのですが、商業高校としての各種検定の合格率も県下でトップです。

2018(平成30)年度の卒業生たちの検定合格状況を見てみるとそのことがよくわかります。

全国商業高等学校協会が実施している検定試験、いわゆる全商検定には、会計実務検定、簿記実務検定、ビジネス文書検定、情報処理検定など、いくつかの検定試験があります。昨年度の卒業生のうち、なんと72人がそういった検定の1級を3種目以上取得しているのです。いわゆる3冠です。中には8冠を取った人もいます。

その他、日本商工会議所が実施する、難関の簿記検定の2級取得者は32人でした。1級取得も1人でした。

卒業生たちは、中学校まで、商業の勉強の経験はありませんでした。津商業高校の授業や課外活動の中で力をつけ、卒業していったということなのです。

